

平成 20 年度東海地区国立大学法人等職員基礎研修参加報告

中村 玲治

標記の研修に参加いたしましたので報告します。

1.目的

東海地区の国立大学法人、大学共同利用機関法人、独立行政法人国立高等専門学校機構及び独立行政法人国立青少年振興機構の機関に新規採用後、勤務経験が半年以上 2 年未満の者に対し、法人職員の心構え等を改めて習得させるとともに、共通して必要な業務遂行上の基礎知識及び能力を養成すること。

2.主催者

岐阜大学、静岡大学、浜松医科大学、名古屋大学、愛知教育大学、名古屋工業大学、豊橋科学技術大学、三重大学、情報・システム研究機構、自然科学研究機構、国立高等専門学校機構、国立青少年教育振興機構

3.日時・会場

日時:平成 20 年 5 月 22 日、23 日

会場:名古屋大学(名古屋千種区)

4.内容

コースオリエンテーション

- .環境の変化とわれわれに期待される役割
- .仕事の進め方
- .ビジネスコミュニケーション
- .チームワークの重要性とコミュニケーション
- .仕事を通じての自己成長
- .今後の自己啓発

5.所感

この研修では、株式会社マネジメントサービスセンターが実際の講義を担当していました。初日には、「環境の変化とわれわれに期待される役割」という題でのプレゼンテーションの練習や、敬語・仕事の進め方についての講義が行われました。二日目には、「おもしろ村」と呼ばれる共同作業や、「PBI」と呼ばれる心理テストのようなものを利用し、グループに別れた新任職員がお互いの仕事についてグループワークを行うことがなどが行われました。これらを通じて、共同作業内における仕事の進め方業務遂行上の基礎知識を多少なりとも得ることができ、また、高等専門学校職員としての心構えを新たにすることができました。